

1

この地方では、桜の花は3月の終わり頃に咲き、4月上旬に満開となる。

【時制と文構造】 (⇒p.14/『文法矯正編』p.14)

「3月の終わり頃に咲く」も「4月上旬に満開となる」も毎年繰り返されることである。このように、半永久的に続くことは現在形を用いる。むしろ、現在形は半永久形と改名したいくらいだ。動作動詞の現在形は常に〈半永久的なこと〉を表すからである。状態動詞の現在形は現在を表す場合と半永久的なことを表す場合がある。本問の場合は半永久的なことと考えられる

【表現研究】

● この地方では

- ① in this area (○) ⇨ 大小に関係なく一般に「地域」
- ② in this region (△) ⇨ 地理的な特徴を意味する「地帯」
- ③ in this district (△) ⇨ 行政が区画した「地区」
- ④ in this part of the country (○)
- ⑤ around here (△) ⇨ 漠然と「この辺り」

「地方」を表すのにいちばん便利な単語は①の **area**。この単語は規模の大小にかかわらず「地域」全般を指すことが可能だからである。②の **region** は **desert regions** 「砂漠地帯」、**agricultural regions** 「農業地帯」のように「地理的な特徴を言及する」か、**the Tohoku region** 「東北地方」のような比較的広い地域にも用いられる (⇒p.92)。③の **district** の **strict** の語源は“強く引っぱる”であり、例えば **strict** は「厳しい」という意味だが、「あれをやってはいけない、これをやってはいけない」と「強く引っぱる」から「厳しい」のである。district の場合は政府などの“行政機関が引き離れた部分 → 限られた範囲”ということである。例えば、**a school district** 「学区」、**an electoral district** 「選挙区」といった例でわかるように、市や国などが意図的に区画した「地区」を指す。④の **part of the country** は「地域」を指す決まり文句である。⑤の **around here** は「この辺り」でもよいが、いささか曖昧な言い方かもしれない。

ついでながら、「地域」は **community** 「地域社会」と訳すべきときがある。

ex. Schools and communities have done various things to adapt to the five-day school week.

「学校や地域では学校5日制を意識して様々な取り組みが行われてきた」

● 桜の花

- ① cherry blossoms (○)
- ② cherry flowers (△) ⇨ 花びらの種類に言及するとき

日本の「桜」と、欧米人がイメージする「さくらんぼ」が成る「桜」とは違うものであるが、どちらも英語では **cherry** という単語で表される。「桜の花」は①の **cherry blossoms** がふつうであり、②の **cherry flower** は「ソメイヨシノ」とか「ヤエザクラ」といったような「桜の花」の種類について細かく言及するようなときに用いることが多い。よって、漠然と「桜の花」全般を指すなら、①の **cherry blossoms** が適切である。

● 3月の終わり頃に

● 4月上旬に

- | | | | |
|---------------------|------------------------|----------------------|------------------------------|
| ① at (○) | } the end of March (○) | ① at (○) | } the beginning of April (○) |
| ② around (○) | | ② around (○) | |
| ③ in late March (○) | | ③ in early April (○) | |

それぞれ①の前置詞 **at** の基本的意味は“一点集中攻撃”であり、“点”をイメージする。それは時間的な場合にも言えることで、仮に1ヵ月を30日とすると、**at the beginning of ~** は最初の1~3日ぐらい、**at the end of ~** は終わりの1~3日ぐらいを指す。すなわち、30日の中の1~3日は“点”にすぎないということである。**in the middle of ~** だけ前置詞が **in** になるのは、**in** の基本的意味は“枠の中”であり、**at** より広いことを指すからである。「3月の終わり頃」の「頃」までこだわるのであれば、**at** を **around** に変えればよい。**around** の方がごまかした言い方になるので **at** よりも意味が広く解釈できる。

一方、③の **late** や **early** は、1ヵ月を大雑把に3等分して、「上旬」が **early**、「中旬」が **mid**、「下旬」が **late** となる。1ヵ月を3等分すると、およそ10日ずつということになり、30日のうちの10日は比較的広い“枠”を設けるので、こちらは **in** という前置詞を用いることになる。

